

(5 月 9 日) : 貿易緊張が 6 営業日連続の下落をもたらした

VN 指数は 6 営業日連続の下落、米中貿易交渉に対する懸念と警戒感化で市場全体に暗雲が垂れ込んだ。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.44% 下落し 947.01 ポイントで取引を終えた。6 営業日での下げ幅を 3.33% とした。

VN 指数は年初来でもっとも長い期間の続落になっている。

依然として米中貿易緊張の過熱化が市場全体の重しになっている。

米国政府が中国製品 2000 億ドル相当に対しての関税を 10% から 25% に上げた場合に、中国政府は報復措置をとると警告している。

“VN 指数は国内海外からの圧力に耐えている方だ”と MB 証券はデイリーレポートで報じた。“外国資金は流出しており、投資家は今週末の米中対話の悪い結果を心配している。”

外国人投資家はホーチミン取引所で 960 億ドンの売り越し。ダット・サイングループ (DXG)、ビンホームズ (VHM)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、ペトロベトナムガス (GAS) などに売りが集まった。

水曜日の外国人投資家の売り越しは 884 億ドンほどであった。

GAS と VHM は VN30 指数の中で下落した 15 銘柄の内の 2 銘柄だった。

その他の下落した大型銘柄は、FPT グループ (FPT)、サコムバンク (STB)、軍隊商業銀行 (MBB)、コテコンズ建設 (CTD)、フーニュアンジュエリー (PNJ) などであった。

“投資家はとても警戒しており、現在の相場については気にもしていない”とサイゴンハノイ証券は報じた。

多くの投資家は押し目買いをするよりも、相場を注視することを選択している。

VHM とテクコムバンク（TCB）の 3.24 兆ドンの相対取引を除くと、流動性は中水準であった。

相対取引を除いて、ホーチミン取引所の売買代金は 2.4 兆ドンで水曜日の 3.27 兆ドンから大きく減少した。

VN 指数が 950 ポイント以下に下落したことで、投資家に株式の売却を迫ることになるかもしれないと MB 証券は語った。

同社によると、“投資家は米中の貿易対話がうまくいったとしても、相場の反発に自信を持てないだろう”とのことだった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.61% 下落し 105.26 ポイントで取引を終えた。

同指数は前日に 0.46% ほど上昇していた。

出来高は 2330 万株で、売買代金は 2517 億ドンほどであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。